

■第23回北海道マスタースキー技術選手権大会開催要項

※今年度よりS A J会員登録は不要です。

1 主 催 公益財団法人 北海道スキー・スノーボード連盟

2 会 期 2027年2月12日(金)～14日(日)

3 会 場 ルスツリゾートスキー場

4 本 部 ルスツリゾートホテル・大会事務局

5 日 程 開会式は行いません。

2月12日(金)

11:00～14:00 受付 事務局にて

13:00～15:00 コートオープン(ビブ着装、リフト券の割引対応は行いません)

2月13日(土)

8:00～ リフト券販売

7:30～11:30 受付 サウスウィング1階 ルスツアリーナ

※9:30～11:30 事務局にて随時受付

9:30～11:30 デモクリニック(申込者のみビブ着装)

【前半】 9:30～10:10 小回り～エリート・ダイナミック

※使用するコートは班で分ける。

【後半】 10:30～11:30 大回り～ダイナミック

フリー～エリート

12:30～ 競技開始 小回り～ダイナミック及びエリートで同時進行

※使用するコートは班で分ける。

14:30 競技終了予定

2月14日(日)

8:30～ インспекション開始

9:00～ 競技開始(2コート2種目同時進行)

フリー～エリート

大回り～ダイナミック

13:00 競技終了予定

14:30 閉会式(サウスウィング1F アリーナ予定)

6 参加資格

2027年4月1日時点で35歳以上 ※S A J会員登録の要件は削除しました。

7 競技種目

大回り(中急斜面)/小回り(中急斜面)/フリー(中急斜面)

※使用するコートは状況により変更することがあります。変更になった場合は、北海道スキー・スノーボード連盟HPに掲示するとともに、大会期間中に公式掲示します。

※天候、積雪の状況により種目を変更・中止することがあります。

8 組別（年齢は2027年4月1日現在）

【男子】

- ・ A組（80歳以上）
- ・ B組（75 ～ 79歳）
- ・ C組（70 ～ 74歳）
- ・ D組（65 ～ 69歳）
- ・ E組（60 ～ 64歳）
- ・ F組（55 ～ 59歳）
- ・ G組（50 ～ 54歳）
- ・ H組（45 ～ 49歳）
- ・ I組（35 ～ 44歳）

【女子】

- ・ J組（60歳以上）
- ・ K組（55～59歳）
- ・ L組（50～54歳）
- ・ M組（45～49歳）
- ・ N組（35～44歳）

9 表彰

各組1位～6位 ※メダルは3位まで

同点同位の場合は、生年月日が早い人を上位とします。

※入賞者が閉会式を欠席した場合は、賞状・メダルの授与は行いません。

受取りを希望する場合は必ず大会事務局までご相談ください。

10 参加申込み方法

（1）インターネット「エントリープラス」での申込みとします。

※エントリープラスに変更になりましたのでご注意ください。

- ・（公財）北海道スキー・スノーボード連盟を選択し、「第23回北海道マスターズスキー技術選手権大会」から申し込んでください。
- ・「デモクリニックあり」「デモクリニックなし」の選択がありますので、間違わないようご注意ください。

（2）申込期日

2027年1月15日（金） ※デモクリニックありは先着180名とします。

（3）参加料 13,000円（デモクリニックなし）

17,000円（デモクリニックあり）

※参加料が期日まで納入（決済）されていなければ申込みが完了しません。

※大会中止の場合を除き、申込み完了後の参加料返金は行いません。

（4）宿泊申込み

大会事務局で斡旋はしませんので、各自で申し込んでください。

11 特記事項

公開練習&デモクリニック講師および競技審判は、ナショナルデモ、SAJデモが行います。

12 個人情報の取扱いについて

- ・参加申込で取得した個人情報は、大会運営にかかわる事項のみに使用し、目的外使用をすることはありません。
- ・データは電算システムで一括管理しますので、氏名の加工など個別の対応はできません。

るのでご了承ください。

- ・氏名、所属団などの情報は、プログラムに掲載するとともに、リザルトを北海道スキー連盟ホームページなどWeb上に掲示します。

13 競技規則等

(1) ビブNo.の決定について

各組ごとにコンピュータドローで決定します。

(2) 得点について

得点は5審3採用制とし公開表示します。審判員のそれぞれの持ち点は100点満点とし、採用得点の合計点で成績順位を決めます。

同点同位の場合は、生年月日の早い人を上位とします。

(3) 用具の使用について

- ・出場する選手が本大会で利用できるスキーの使用台数に制限はありません。
- ・選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはルーズフィットなものとし、レーシングスーツ（ワンピースやツーピース）は認めません。
- ・環境破壊や健康被害の防止の観点からフッ素成分を含むワックスの使用を禁止します。

(4) ヘルメット等の着用について

競技中は頭部を防護する為、すべての競技において必ずヘルメットを着用して下さい。ヘルメットの加工や突起物を取り付けることは禁止とします。

(5) ビブの着用について

インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用して下さい。

(6) コートオープンについて

- ・主催者管理外としますが、事故防止等の観点から各コートに役員数名を配置します。
- ・コートオープン時間中は、コート内の途中で意図的に停止し立ち止まることを禁止します。
- ・悪天候や転倒などの事故により危険と判断した場合は、滑走を一時中断または中止とすることがあります。
- ・コートオープン中の事故や怪我等に関しては、選手の自己責任とします。

(7) スタートの要領について

- ・選手は、各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答しなければなりません。
- ・選手は前者のスタート後、ただちにスタート位置につき準備を整えます。
- ・選手はスタート審判の合図によりスタートします。ただちにスタートしない場合は当該種目を棄権したものとみなします。
- ・スタートはスキーの一部がスタートポール内側を結ぶライン上に接した状態でブーツがそのラインを超えない位置から行います。

(8) フィニッシュの要領について

フィニッシュはコート下部の左右にある旗門と旗門の内側を結ぶフィニッシュラ

インの通過をもって演技終了とします。小回り種目については、フィニッシュライン通過後にスピードコントロールし、完全停止をもって演技終了とします。

(9) 演技の中断及び途中棄権について

- ・演技を中断した場合には、その位置で態勢を整え速やかに再スタートしてください。ただし中断が長引くと判断した場合は、係員の指示に従い行動してください。
- ・やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコース外に移動してください。この場合において、当該種目の得点は0としますが、次の種目からの出場権は保持されます。
- ・用具が離脱した際については、係員の幫助を受けることができます。

(10) コートインスペクション・コート整備について

コース整備を兼ねたコートインスペクションを行いますのでご協力下さい。

また、各班の中間でコート整備を行います。

詳細はプログラムに掲載します。

(11) 抗議について

抗議事項が発生した場合は、各コートジャッジテントに用意された抗議用紙を使用し、演技終了後5分以内に各コートの Jury に申し出てください。

14 出場選手の画像や映像等の配信について

スキー技術選手権大会共通事項として別途定めましたので、「大会の出場選手の画像や映像等の配信について」を参照してください。

15 問い合わせ先 ※連絡先は、エントリープラスの要項に記載します。

スキー技術選運営部 部長 東山浩史

副部長 和田 弥（マスターズ委員会委員長）